

実技
講座

「生誕140年記念 石崎光瑠」展関連

はな

絹に写す 光瑠の華

石崎光瑠は、明治後期から昭和前期にかけて京都を中心に活躍した日本画家です。煌びやかで華やかな花鳥図を数多く描いた光瑠は、強い探究心と博物学的眼差しで動植物を写生し、独自の日本画の世界を切り開いて行きました。古画研究にも非常に熱心に取り組み、自然をありのまま描くのではなく、整理して描くことで理想化した美しい世界を画面の中に作り出しました。今回の講座では、光瑠が晩年に数多く制作した花々の作品より《霜月》を取り上げ、膠や、胡粉や水干絵具といった日本画材を用いて絹に部分模写していきます。繊細な線描やぼかしを多用した彩色法、また裏彩色といった絹ならではの特別な技法で描いてみましょう。展覧会鑑賞と作品模写を通して、光瑠が生涯目指した日本画の世界を体感してみませんか？

2月1日(土)・2日(日) *2日間続けてご参加ください。

時間 10:00~16:30
場所 静岡県立美術館実技室
対象 中学生以上の個人 ※初心者の方もご参加いただけますが、線描がやや経験者向けです。
定員 10名
材料費 3,000円程度
観覧料 一般:1,400円 70歳以上:700円
大学生以下:無料
※ワークショップ中に展覧会を鑑賞しますので、別途、観覧料が必要になります。

持ち物
・昼食
・筆(当館で筆をご用意いたします。使い慣れた筆をお持ちの方のみご持参ください。)

エプロンや作業着等、汚れても良い服装でお越しください。

※体調がすぐれない場合、ご参加を控えていただきますよう、お願いいたします。



石崎光瑠《霜月》1938年 東京藝術大学蔵(前期展示)



「晴るかす」絹本着色 50cm円窓

講師 藤井 聡子/Fujii Satoko 氏(日本画家)

女子美術大学卒業、東京藝術大学保存修復日本画研究室後期 博士課程修了・博士学位(文化財)取得、1997年春の院展・再興院展初入選、2015年個展(佐藤美術館)、2024年春の院展奨励賞受賞・再興院展奨励賞受賞 その他個展やグループ展にて活動中。現在 日本美術院特待・女子美術大学非常勤講師 URL satofuji7.wixsite.com/website

◆◆◆お申込み・お問合せ先◆◆◆

下記のいずれかの方法でお申込みください。定員を超えた場合は抽選となります。

◆FAX ◆郵送 ◆実技室ポストに投函 ◆WEBから申込む

県美HPアドレス: <https://spsmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

静岡県立美術館 学芸課 実技室担当 〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 TEL: 054-263-5857 FAX: 054-263-5742

※共催 静岡県立美術館友の会

申込受付期間: 1/6(月)~1/15(水) 必着

抽選結果: 1/17(金)以降、メールまたはお電話にて抽選結果を順次お知らせいたします。

※上記受付期間内にお申込みが定員に満たなかった場合は、以後、先着順にて受付いたします。



WEB申込みはこちら

お申込み用紙

実技講座

絹に写す 光瑠の華

2/1(土)・2(日)

※2日間講座です。

フリガナ

お名前

メールアドレス

TEL

中・高・大 年生・一般・70歳以上

@

連絡のつきやすい時間帯

時頃

※定員を超えた場合は抽選となります。 ※ご記入いただいた内容は、イベントに関する連絡以外には使用いたしません。